

小池なつみ通信 No.002 -地域配布版-

2023年10月16日-17日

自民党女性局中央研修会

党本部にて行われた勉強会に、県連役員として参加いたしました。「なぜ女性議員が必要なのか」「少子化対策」「子ども家庭庁の意義・役割」などをテーマに、女性国会議員の皆様から直々に学ばせていただくことができました。

自民党岐阜県連女性局は若井敦子県議を局長に、女性にまつわる政策を中心に議論を深めています。国・県・市の連携は社会課題の早期解決に必須であると確認すると共に、市民の皆様のご生活に資する取組を積極的に推し進めて参ります。



▲ 左から小池、小木曾光佐子瑞浪市議、野田聖子代議士、今井るる県議、大久保京子瑞浪市議



2023年10月3日-12月21日

いのちを守る地域改善

飛処川 農業用取水堰 改善(坂本地区)

農業用水を取水するための構造物。施工者は水利組合で、現在は解体されて存在しません。この放置された堰のせいで、大雨が降ると溢れ、川沿いの民家の敷地内へ水が流れ込んでしまっていました。

飛処川は市の管轄の河川ですから、その不満は簡単に市の方へ向かっていました。本件は特筆して危険度が高かったのも、わたしも必死になって市にお願いをしました。本来は施工した水利組合と住民の方とで話し合って費用負担をし、解決すべき問題です。

「市は何もしてくれない!」と思ってしまう前に、事実関係を確認すべき事例もあるのだと、本件を通じて学び、反省の意を込めてご紹介させていただきます。この場をお借りして、わたしを信じて託してくださった市民の方。そして、なんとか施工してくださった上、知恵を与えてくださった中津川市建設部の皆様に、厚く御礼申し上げます。

TOWN MEETING

タウンミーティングを随時開催しています。

ひと・まちテラスにてタウンミーティングを随時開催しています。今年度は7月、8月(テーマ:観光)、11月、2月に開催する予定です。詳細は各種SNSにてお知らせしております。

市政報告会のご希望を承っています。

市政報告会について、随時スケジュール調整を承っています。スケジュール調整が可能な範囲で、数人のグループや、地区の集会や無尽等、オンラインも対応させていただきます。ご希望の方はメールにてご連絡ください。

→ koikenatsumi2023@gmail.com



▲ 2023/12/2 坂本市議団市政報告会にて

2023年12月8日 - 一般質問

中津川市のこども政策について

中津川市議会初の出産を間近に控えた妊婦による一般質問ということで、こども政策について確認しました。

中津川市内の15歳未満の子どもの数は

1980年
19,454人

2020年
9,446人

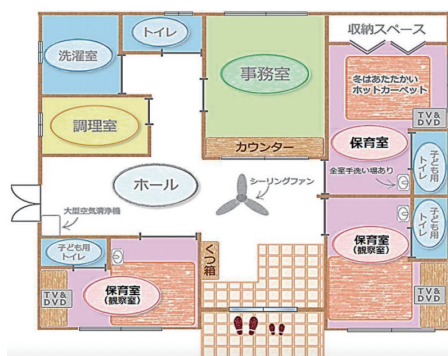
2023年
8,484人

この40年ちょっとの間に半分以下になりました。また、2015年に中津川市が予想していた2030年時点での9,148人という数字をすでに下回り…加速度的に少子化が進んでいることを、まず知っていただきたいです。

国の地域少子化対策重点推進交付金→

令和3年に創設した補助事業。当初は移住者支援として始まりましたが、若者の市外流出を抑え、地元定着を図るために制度改正。

令和3年度39件、令和4年度111件利用で、効果あり。



新婚さん 住まいる応援事業

定住推進課

中津川市内で住宅を取得する新婚世帯を応援します。

補助の額

▶ 住宅の購入
(新築/建売/中古)・増築 **30万円**

最大
50万円

▶ 新築住宅購入 **10万円加算**

▶ 市内に本社のある事業者との契約 **10万円加算**

←中津川市の病児保育くりっこハウス改善

2024年4月より家庭保育所くっくさんに運営委託を開始。合わせて予約のオンライン化を実施し、利用者急増中！

[参考]対象:生後8ヶ月～小学校6年生

料金:1日あたり1,000~2,000円

※生活保護世帯、多子世帯は無料

中津川市では健康福祉会館1Fで解決!!!

2024年4月より、こどもの事なら何でも相談できるワンストップ窓口として再構築されました。

妊産婦やひとり親、乳幼児等対応。児童虐待や貧困などの問題を抱える家庭の支援対応まで、包括的に対応できる体制。

↓子ども家庭センターの機能

児童の一時預かり

児童の送迎

ショートステイ

相談支援

家庭訪問

産前産後サポート

産後ケア

子育てサロン etc...

PERSONAL DATE

中津川市議会議員 小池 なつみ(37歳)

1986年(昭和61年)6月 大阪府茨木市 出身

2009年3月 同志社大学経済学部 卒業

2009年4月 東海東京証券株式会社 入社

2014年1月 中津川に移住し継業就農

2018年8月 規格外野菜専門加工場運営

2019年4月 中津川市移住サポーターに就任

2020年6月 恵那山麓野菜を立ち上げる

2023年4月 中津川市議会議員 初当選

【所属】 中津川自民クラブ
文教民生委員会
予算決算委員会
リニア中央新幹線対策特別委員会
議会報編集委員会



SNSで活動をチェック!

小池なつみ



こそだて・教育支援



INFORMATION

産前産後休暇をいただき、ありがとうございました。

2024年2月に、緊急帝王切開にて第二子となる女兒を出産いたしました。

中津川市の年間出生数は2022年に362人となりました。2017年は570人でしたのでこのペースで減少すると、今年は300人を切るのではないかとされています。中津川市民病院で生まれる子どもの数は現在、年間約60人。平均すると週に1人です。

7年ぶりの新生児育児はたいへん愛おしく、生まれてきたいのちの尊さに心を突き動かされる日々です。この間、温かく見守ってくださった皆様に感謝すると共に、これから生まれてくるこどもたちが暮らしやすい中津川を目指し、行動して参ります。